

日本語教育学会 秋季大会

パネルディスカッション

ことばは教えられるか

日本語教育の「何を」「どのように」「なぜ」

－戦後の歴史的推移から

2010年10月9日(土) 神戸大学

細川英雄 早稲田大学大学院日本語教育研究科

<http://www.gsjal.jp/hosokawa/>



パネルディスカッション ことばは教えられるか
日本語教育の「何を」「どのように」「なぜ」
－戦後の歴史的推移から

- 日本語教育学の歴史的変遷
- 2つの批判
- 反省：コミュニケーション及びその能力とは何か
- 環境としての学習・教育・研究

日本語教育学の歴史的変遷

タイプ	タイプA	タイプB	タイプC
項目	60～70年代 「何を」	80年代 「どのように」	90年代 「なぜ？」
言語と文化	日本語学・日本学	日本語教育・日本の社会・文化	日本語教育学
教育目的	教育内容重視	教育方法重視	教育関係重視
教室実践	教師中心	学習者中心	学習者主体

60年代から70年代

- 戦前の植民地教育としての国語教育からの離脱
- 国語教育における文学鑑賞の世界から実地的な言語教育へという流れ
- 日本語教育において「何を」を教えるのか一語彙・文型のリスト整備

70年代後半から80年代

- コミュニケーション能力育成が謳われはじめる＝コミュニカティブ・アプローチの影響
 - コミュニケーション能力とは何かという議論はあったか
- 運用知識を高める＝コミュニケーション能力育成か？
 - 文法・語彙・発音・漢字といった項目に限定

批判1：能力は可視化できるのか

- 能力は外側からは見えない
- 能力を測ることは簡単ではない
- 能力は可視化できるのか
- 能力を可視化しようとする行為自体が虚しい

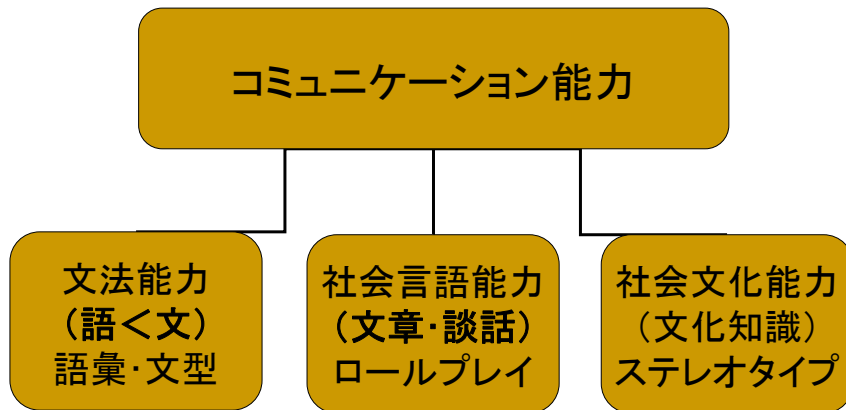
批判2: 日本語教育は下請けの「お手伝い」か

- 専門日本語教育, ビジネス日本語, 看護・介護の日本語, の発想
- 日本語教師のパターナリズム(差別的温情主義)と深い関係
- 日本語教育それ自体が, その準備主義を生む土壌を自らすすんで形成

反省: コミュニケーション及びその能力とは何か

- コミュニケーションとは
 - 自己と他者の人間関係を構築する行為
 - コミュニティとその意識を形成していく行為
- アイデンティティの問題へ
- 個人の能力だけに着目し, 訓練するという発想の見直し

コミュニケーション能力とは何か？ -80年代モデルの批判的検討



80年代モデルの問題点

- ・部分から全体へ
分析モデルの積み上げ、語>文>文章
- ・談話
- ・日本語の目的主義
句型・語彙の目的化、「文化」の固定化
- ・他者と教育のインターアクション・話者の内省は？

分析の積み上げから 新しいことばの活動へ

- 全体から部分へ(テーマ／主題／動機＞文章・談話＞文)
- ことばと文化の統合(「文化」の境界を個人化する)
- 自己の内省と他者とのインターアクションの活性化
- 活動の循環を螺旋状(スパイラル)に描く。

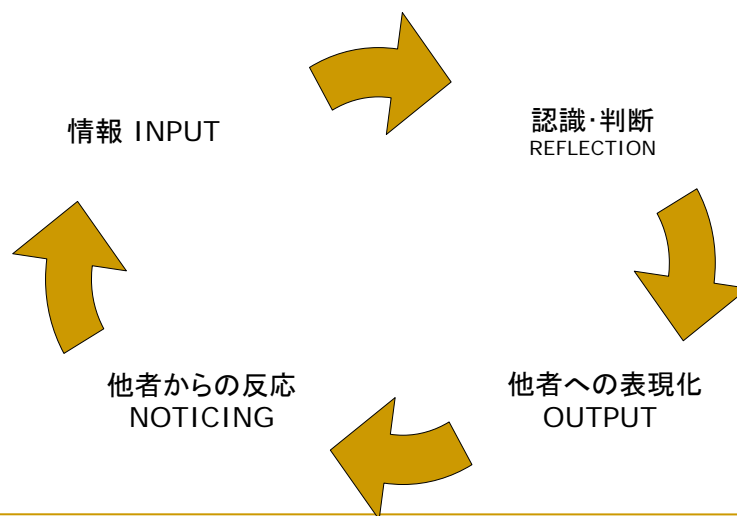
行為者acteurによることばの活動

- 自分の考えていることを相手に伝え、その内容についてやり取りする行為
- 行為者によるテーマ・主題・動機
- 具体的なテーマにもとづく固有性と共有性をめぐる行為者自身の活動

行為者としての学習者の活動

- 自分の考えを表現する。
- 他者の考えを聞く。
- 自分の考えを更新する。
- 複数の他者と自分、社会との関係について考える。
- 活動は、他者との交流によって活性化
する。

コミュニケーションとはどんな活動なのか



環境としての学習・教育・研究

- 総合的な意味での「人材育成」の観点
- 成果産出のプロセス重視—ことばに即して厳密に思考する
- 自分のテーマの発見・形成を通して、自らが帰属する社会とは何かを考える人材
 - 人生を貫くテーマ, 将来の職業への道筋, 必然的に生涯学習, 専門性
 - 自らのムーブメントを自覚する, 絶好の機会, 普遍的な教育的課題

日本語教育の目的とは

- 自分の過去・現在・未来を結ぶテーマの発見
- テーマを持っている人に
 - 表現の重要性をどのように自覚させるか
- 言語使用経験も持っている人に
 - その方向性を認識させるべく環境の場を設定する

日本語教育の目的とは

- × 日本語という言葉を経率的・効果的に習得する／させること
- ○ 日本語の活動によって生じる諸問題を対象として自らのことばとは何かを徹底的に考え／考えさせること

パネルディスカッション ことばは教えられるか
日本語教育の「何を」「どのように」「なぜ」
―戦後の歴史的推移から

ことばによって個人と社会を結び、人間としての生を肯定的に捉えることができるようになることをめざす

ことばの市民としての学習・教育へ